

平成30年度実施報告書

I 研究開発の概要

1 研究開発構想名

日本の歴史・伝統・文化を踏まえて、多文化共生社会を構築するグローバル・リーダーの育成

2 期待する生徒の将来像

グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や様々な国際舞台で活躍できる人材となり、人類の幸福に寄与するようなグローバル・リーダー

3 身に付けさせたい能力等

- (1) 日本の歴史・伝統・文化を理解する力
- (2) 思考力・判断力・表現力・情報活用能力
- (3) グローバルな社会課題に対する関心・意欲・探究心
- (4) コミュニケーション能力
- (5) 日本と諸外国を比較検討し異文化を理解しより良き未来を指向する力
- (6) 課題解決能力
- (7) 創造的提案を的確に発信する力
- (8) 英語力

4 生徒の現状（課題）

- (1) グローバルな視点での見方や考え方・異文化理解が十分とは言えない。
- (2) 日本の歴史・伝統・文化を発信することに課題がある。
- (3) 海外で自分の考えを発表したりディスカッションをしたりする機会がない。
- (4) 海外等で使える英語力が十分とは言えない。

5 仮説及び検証方法等

(1) 仮説1（身に付けさせたい能力等（1）～（4））

「生徒の現状（課題）（1）（2）（4）」の克服を図り、主に「身に付けさせたい能力等（1）～（4）」を身に付けさせる。

ア【仮説1】

教育課程に、グローバル・リーダー育成を目的とした教科を設定し、グローバルな視点からものごとを捉える学習内容にするとともに、日本の歴史・伝統・文化及びグローバルな課題に係る授業、調査活動、体験活動、交流活動、発表活動等を取り入れれば、日本の歴史・伝統・文化に対する理解が深まり、グローバルな社会課題に対する関心・意欲、探究心が高まり、思考力・判断力・表現力・情報活用能力等が向上し、コミュニケーション能力が身に付くのではないかと。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

「研究開発2・3・5・6」及び「課題研究以外の研究開発1」において行う。

(ア) 実施内容

- a 教育課程に、グローバル・リーダー育成を目的とした学校設定教科「グローバルラーニング（GL）」を設定し、既存の教科「地理・歴史」、「公民」、「外国語」を再編する。
- b 学校設定教科「グローバルラーニング」の中に、生徒の課題について、大学や企業、関係機関等と連携し、調査活動、体験活動、交流活動、発表活動等が週時程外で実施できる「GLアクティブ」を設定する。

(イ) 検証方法

- a 生徒、保護者、教員によるアンケート
- b 大学進学実績（平成30年度以降実施）
- c 課題研究及びプレゼンテーション等の成果からの分析

(2) 仮説2（身に付けさせたい能力等（5））

生徒の現状（課題）（1）（3）」の克服を図り、主に「身に付けさせたい能力等（5）」を身に付けさせる。

ア【仮説2】

海外研修の機会を設け、現地の高校又は大学と連携を図り、自分の考えを発表したりディスカッションをしたりする機会や交流活動を設けるとともに、現地での調査活動、体験活動を通して日本との比較を行うことでグローバルな課題の解決策を探究させれば、異文化を理解し、より良き未来を指向することができるのではないか。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

「研究開発4」において行う。

(ア) 実施内容

オランダ、イギリス、ドイツ、シンガポール、オーストラリアでの海外研修を実施する。

(イ) 検証方法

- a 生徒、保護者、教員によるアンケート
- b 生徒の報告書の分析

(3) 仮説3（身に付けさせたい能力等（6）～（8））

生徒の現状（課題）（1）（2）（4）の克服を図り、主に身に付けさせたい能力等（6）～（8）を身に付けさせる。

ア【仮説3】

「GLアクティブ」で得た情報を整理し、日本の歴史・伝統・文化を踏まえてグローバルな社会課題について研究（国際間での文化や社会の対立を排除し、その融和の実現を図る探究）を行い、国際社会に発信可能な英語での報告を行わせれば、英語力の向上、課題解決方法を考え創造的提案を行う発信力が高まり、課題を解決する能力と態度が身に付くのではないか。

イ【具体的な実施内容及び検証方法の概要】

研究開発1」及び「課題研究以外の研究開発2・3」において行う。

(ア) 実施内容

総合的な学習の時間を「GL探究」とし、1年次に「GLアクティブ」等で得た情報を整理し、グローバルな社会課題から研究課題を定めさせ、2年次から日本の歴史・伝統

・文化を踏まえて、グローバルな社会課題の解決に向けた研究を行い、英語によるプレゼンテーションを実施するとともに論文を作成させる。

(イ) 検証方法

- a 生徒，教員によるアンケート
- b 課題研究の校外での発表の件数や入賞の件数
- c 進路希望や進路意識の変容の分析
- d 留学生等の外部からの評価
- e 英語検定等の達成レベル
- f 海外研修に参加した生徒の自己評価（英語について）

6 平成30年度の生徒の到達目標

第3学年生徒

- ① グローバルな社会課題について、日本の歴史・伝統・文化を踏まえて論理的に考察し、結論に結びつけることができる。
- ② 取り上げた研究課題の解決に向け、現実的で創造的な提案ができる。
- ③ 研究内容を適切に論文にまとめることができる。
- ④ グローバル社会における自己の在り方について考えを深めることができる。

第2学年生徒

- ① 取り上げた研究課題に対して適切に調査を行うことができる。
- ② 日本の歴史，伝統，文化を踏まえて取り上げた研究課題の解決策を考えることができる。
- ③ 日本と諸外国を比較検討し異文化を理解しより良き未来を考えることができる。
- ④ 導き出した解決策を具体的に示すことができる。
- ④ 自分の考えを論理的かつ的確に発信することができる。

第1学年生徒

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる，課題研究テーマに関する日本の歴史，伝統，文化を語れるようにする。
- ② 研究したいグローバル社会における課題を見つける。
- ③ 英語でプレゼンテーションができるようにする。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

7 研究体制

(1) SGH拡大委員会（SSH・SGH推進委員会，15名）

学校全体に係るSGH事業の運営及びSSHとの連携に係る研究組織であり，委員の構成は次のとおりである。

委員長 校長

副委員長（3名） 教頭（2名），SGH主任

委員（11名） 国際交流部長，SSH部長，SSH部員，教務主任，国語代表，地理歴史・公民代表，数学代表，理科代表，保健体育代表，芸術代表，英語代表

(2) SGH推進委員会（14名）

昨年度末、具体的な方針、運営について検討する組織としてSGH推進委員会を編成した。委員の構成は次のとおりである。

委員長 校長

副委員長（3名） 教頭（2名）、SGH主任

委員（9名） 国際交流部長、地理歴史・公民科主任、英語科主任、第1学年主任、第2学年主任、第1学年SGH担当、第2学年SGH担当、教務主任、事務主幹

(3) SGH実務担当チーム

SGHに係る具体的な企画・運営に係る素案作成及び運営に当たり、研究の中核を担う組織として編成した。委員の構成は次のとおりである。

教頭（SGH担当）、SGH主任、国際交流部員（5名）

(4) SGHサポートチーム

SGH実務担当を補佐し、GL探究等の運営に携わった。

第1学年副担任5名、第2学年2名

(5) 研究開発ごとの担当

研究開発		主担当	担当職員
研究開発1 「課題研究」	計画・運営	内山 浩史	SGH実務担当、SGH推進委員会
	課題研究指導	内山 浩史	当該学年全員
	課題研究助言	内山 浩史	全職員（地歴・公民を中核とする。）
	プレゼン指導	尾竹 陽子	GLコミュニケーション英語担当
研究開発2 「教育課程」	学校設定教科 「グローバルラーニング」	東森彩理沙	地歴・公民担当
	GLアクティブ	内山 浩史	全職員（地歴・公民を中核とする。）
研究開発3「国内グローバル研修」		尾竹 陽子	外国語（英語）担当・学年職員
研究開発4「海外研修」		羽計 仁子	国際交流部・外国語（英語）担当等
研究開発5「大学との連携」		石倉 裕之	SGH実務担当・進路指導部・当該学年職員
研究開発6「企業・国際機関等との連携」		戸村 玲子	全職員（SGH実務担当を中核とする。）
課題研究以外の研究開発1 「教育課程」		羽計 仁子	GLコミュニケーション英語担当
課題研究以外の研究開発2	英検等に対する取組	井守 雄一	外国語（英語）担当
	海外からの留学生等との交流	羽計 仁子	国際交流部・当該学年職員
課題研究以外の研究開発3		入江 順一	国際交流部・鹿山会関係職員・進路指導部

8 主な連携とその内容

連携先	期日	連携内容
千葉大学	平成30年 8月2日(木)	[連携学部] 国際教養学部 「GLアクティブ」において、和田健准教授と連携し、千葉大学の海外からの留学生が語る日本の歴史や文化の魅力などを聞くとともに、意見交換を行った。
	平成30年 8月6日(月)	[連携学部] 千葉大学環境ISO学生委員会 「GLアクティブ」において、学生の研究内容や環境マネジメントシステムについての説明を受ける。
	平成30年 9月4日(火)	[連携学部] 国際教養学部 「GL探究」において、ガイタニディス・ヤニス助教に生徒の活動を参観いただき、助言・指導をいただいた。
	平成30年 9月13日(木)	[連携学部] 法政経学部 「GL探究」において、千葉大学法政経学部教授 水島治郎 先生による講演「ポピュリズムの台頭と多文化共生」を実施した。
	平成30年 7月～12月	[連携学部] 国際教養学部 和田健准教授・小林聡子助教に課題研究に係る相談に個別に対応していただき、具体的な助言を随時いただいた。
	平成31年 2月19日(火)	[連携学部] 国際教養学部・高大連携室 「GL探究」において、足立欣一特任教授、ガイタニディス・ヤニス助教に1年次・2年次生の課題研究発表会を参観いただき、助言・指導をいただいた。
	平成31年 3月18日(月)	[連携学部] 高大連携室 「GL探究」において、足立欣一特任教授に課題研究発表会を参観いただき、助言・指導をいただいた。
東京大学	平成30年 9月4日(火)	[連携学部] 大学院総合文化研究科・教養学部 「GL探究」において、阿古智子准教授に生徒の活動を参観いただき、助言・指導をいただいた。
	平成30年 9月4日(火)	[連携学部] 大学院総合文化研究科・教養学部「GLアクティブ」において、東京大学修士課程 Wei Chiang Yap 氏に、シンガポールに係る講義をしていただくとともに、課題研究の助言・指導をいただいた。
	平成30年 10月29日(月)	[連携学部] 大学院総合文化研究科・教養学部 「GLアクティブ」において、阿古智子准教授の研究室を訪問するとともに、学生から生徒の課題研究について指導・助言をいただいた。
東京外国語大学	平成30年 10月29日(月)	言語文化学部 藤縄康弘教授の模擬授業を行った。

筑波大学	平成30年 10月29日(月)	筑波大学人文社会学系 毛利亜紀助教の模擬授業を行った。
国立歴史民俗 博物館	平成30年 4月17日(火)	1学年生徒全員が館内の見学等を実施した。
	平成30年 8月22日(水)	日本の近代史について樋浦郷子准教授による講義を実施した。
国際協力機構 (JICA)	平成30年 11月16日(金)	JICA海外ボランティア経験者による「GL探究」の講演を行った。
DIRECT FORCE	平成30年 11月16日(金)	DIRECTFORCE授業支援の会による「GL探究」の講演を行った。
メロス言語学 院	平成31年 2月19日(火)	「SGH課題研究～互いのプランを深め合うクラス発表会～」において、海外からの留学生28名による発表に対する助言及び評価を行った。
	平成31年 3月18日(月)	「SSH・SGH合同課題研究発表会」において、海外からの留学生20名による発表に対する助言及び評価を行った。
東京ジャーミ ィ・トルコ文化 センター	平成31年 8月3日(木)	東京ジャーミィ・トルコ文化センターを訪問し、職員の下山茂氏から説明を受け、見学を行った。
日本政策金融 公庫	平成30年 7月9日(月)	ビジネス課題についての研究手法等についての講義及び相談会を行う。
	平成30年 7月10日(火)・ 7月11日(水)	ビジネス課題を取り上げている生徒対象に相談会を行った。
	平成30年 7月20日(金)	日本政策金融公庫千葉支店において課題研究の助言・指導を受けた。
クレアシンガ ポール事務所	平成30年 9月13日(木)	海外研修において、クレアシンガポール事務所を訪問し、職員から課題研究の指導・助言を受けた。
セント・ジョセ フ・インスティ テューション	平成30年 9月14日(金)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
デュッセルド ルフ市	平成31年 3月14日(木)	デュッセルドルフでのフィールドワーク及び現地校との連携等について支援を受けた。
ツェツィリアン ギムナジウム	平成31年 3月18日(月)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
クレアロンド ン事務所	平成31年 3月25日(月)	海外研修において、クレアロンドン事務所を訪問し、職員から課題研究の指導・助言を受けた。

ホリポートカレッジ	平成31年 3月26日(火)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
ナンボー・クリスチャンカレッジ	平成30年 7月26日(木)・ 31日(火)	海外研修の交流校として、課題研究の発表及びディスカッションを行った。
シーボルトハウス	平成30年 11月16日(金)	シーボルトハウス フォロー邦子 氏との連携により、オランダ・ライデン大学や国立歴史民族学博物館との連携を構築し、生徒がオランダ派遣の研修の一環として訪問し、説明を受け調査を行った。
佐倉市	平成30年 8月10日(金)	「佐倉市総合計画策定のための高校生によるまちづくりワークショップ」に参加。
佐倉市立間野台小学校・内郷小学校・佐倉小学校	平成30年 7月及び10月	課題研究に係る検証を、児童対象に特別授業として実施した。

9 平成30年度SGH事業の実施状況

(1) 「GL探究」(総合的な学習の時間)

月日	学年	内容	
4月10日(火)	2	「課題研究の見通しを立てよう」	
	3	「研究報告書を作成しよう」	
4月11日(水)	1	ガイダンス1「SGHプログラム」(体育館)	
4月17日(火)	4時間	1 ガイダンス2「佐倉を知る」(全クラス)	
	2時間	2	「研究計画を見直そう」
		3	「研究報告書を作成しよう」
4月24日(火)	1	ガイダンス3「研究方法を知ろう」	
	2	「研究計画を見直そう」	
5月8日(火)	2時間	1・2 ガイダンス4「海外研修の報告を聞こう1」	
	1時間	3 「研究報告書を作成しよう」	
5月15日(火)	1	ガイダンス5「課題を見つけてみよう1」	
	2	「具体的な研究計画を作成しよう」	
	3	「研究報告書を作成しよう」	
5月29日(火)	1	ガイダンス6「課題を見つけてみよう2」	
	2	「具体的な研究計画を作成しよう」	
6月5日(火)	3	「研究報告書を作成しよう」	
6月12日(火)	3	「研究報告書を作成しよう」	

6月26日(火)	1	ガイダンス7「研究テーマを決めよう」
	2	「具体的な研究計画を作成しよう」
	3	「研究報告書を作成しよう」
6月27日(水)	1	ガイダンス8「課題研究の見通しを立てよう」
7月9日(月) 2時間	1	「課題研究を始めよう」ワークショップ(日本政策金融公庫 寺田博史氏)
7月10日(火)	1	「夏季休業を活用しよう」
	2	「フィールドワークについて」
7月11日(水)	2	「フィールドワークについて」
7月20日(金) 2時間	3	「自己の在り方について考えよう」
9月4日(火) 2時間	1	「1分間スピーチを通して研究グループをつくろう」
	2	「フィールドワーク等の資料整理をしよう」
9月11日(火)	3	「研究報告書を完成させよう」
9月13日(木)	1・2	講演(千葉大学法政経学部教授 水島治郎先生)
9月18日(火)	3	「研究報告書を完成させよう」
9月25日(火) 2時間	1	「課題研究テーマ, 研究の目的(設定理由, 仮説等)を決めよう」
	2	「研究内容をまとめよう」
	3	「自己の在り方について考えよう」
10月9日(火)	1・2	「海外研修の報告を聞こう2」シンガポール研修報告会・オーストラリア研修報告会(体育館)
	3	「自己の在り方について考えよう」
10月9日(火)	1	「SSH課題研究ポスター発表から学ぼう」(体育館)
	2	「課題研究発表の準備をしよう」
10月23日(火)	1	「課題研究テーマ, 設定理由等の修正」
	2	「課題研究発表の準備をしよう」
	3	「自己の在り方について考えよう」
10月30日(火)	1	「課題研究の計画」
	3	「自己の在り方について考えよう」
11月6日(火)	1	「課題研究を進めよう」
	2	「課題研究進捗状況報告会」
	3	「自己の在り方について考えよう」
11月16日(火) 2時間	1	「海外理解推進のための講演会」(国際協力機構(JICA), DIRECTFORCE等)

11月20日(火) 2時間		1	「課題研究進捗状況報告会」
		3	「自己の在り方について考えよう」
11月27日(火)	1時間	1	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
	1時間	1	「2年生の課題研究進捗状況報告会を参観しよう」
	2時間	2	「課題研究進捗状況報告会」
	1時間	3	「自己の在り方について考えよう」
12月11日(火)		1・2	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
12月18日(火)		1・2	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
12月21日(金)		3	「自己の在り方について考えよう」
1月8日(火)		1・2	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
1月15日(火)		1	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
1月22日(火)	2時間	1	「課題研究発表会リハーサル」
	1時間	2	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
1月29日(火)	1時間	1	「互いのプランを深め合うクラス発表会に向けて」
	2時間	2	「課題研究発表会リハーサル」
2月19日(火)	3時間	1・2	「互いのプランを深め合うクラス発表会」
3月18日(月)	4時間	1・2	「SSH・SGH合同発表会」(全クラス)
3月19日(火)		2	「研究報告書を作成しよう」

(2)「GLアクティブ」

月日	分類	テーマ
7月10日(火)	国内研修	ビジネス課題相談会(日本政策金融公庫)
7月11日(水)	国内研修	ビジネス課題相談会(日本政策金融公庫)
7月20日(金)～ 8月3日(金)	海外研修 (2年)	オーストラリア研修
7月20日(金)	国内研修	ビジネスプラン発表会
7月24日(火) ～28日(土)	国内研修	世界高校生水会議
8月2日(木)	国内研修	「歴博+千葉大 留学生プロジェクト」(国立歴史民俗博物館)
8月3日(金)	国内研修	「東京ジャーミイ・トルコ文化センターと江戸東京博物館」
8月3日(木)	国内研修	「醸造文化、地域活性化を学ぼう」(神崎, 佐原, 小見川)
8月6日(月)	国内研修	「千葉大学環境ISO学生委員会に行こう」(千葉大学)

8月10日(金)	国内研修	「浅草・築地周辺調査+江戸歴博を知ろう！」
8月10日(金)	国内研修	「高校生によるまちづくりワークショップ」
8月22日(水)	国内研修	「歴博を知ろう」(国立歴史民俗博物館)
8月22日(水)	国内研修	「醸造文化, 地域活性化を学ぼう」
9月4日(火)	国内研修	「シンガポールを知ろう」
9月12日(水)～ 9月15日(土)	海外研修 (2年)	SGHシンガポール海外研修
10月1日(月)～ 10月3日(水)	国内グローバル研修	英語宿泊研修(ブリティッシュヒルズ)
10月29日(月)	国内研修	「東京外国語大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
10月29日(月)	国内研修	「筑波大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
10月29日(月)	国内研修	「東京大学SGH研修」グローバル大学訪問・模擬授業
11月15日(木) ～ 11月25日(日)	海外研修 (1年)	オランダ派遣
12月15日(土)	国内研修	SGH全国高校生フォーラム
12月23日(日)	国内研修 (2年)	第3回関東・甲信越静地区スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会(立教大学)
1月11日(金)	国内研修	「ドイツ派遣に向けて」寒郡茂樹氏(本校同窓生)
2月17日(日)	国内研修	第3回国際研究発表会(千葉大学)
3月13日(水)～ 3月19日(火)	海外研修 (2年)	SGHドイツ海外研修
3月16日(土)	国内研修	千葉県課題研究発表会
3月22日(金)～ 3月29日(金)	海外研修 (2年(一部1年))	SGHイギリス海外研修
3月23日(土)	国内研修 (2年)	SGH甲子園2019(関西学院大学)